

ずいそう

子供同伴研修 (ママとチビのステップアップ研修)

角 崎 由貴子



昨年の11月、社内の年次研修の案内が来ました。研修日程は4日間と少し長く、全日程を受講するかどうか迷っていました。理由は5歳になる娘がいて、いつもは保育所へ預け両親のサポートを受けながらの生活を送っており、4日間も娘のもとにママが帰ってこない！という事が無かったからです。今までも社内の研修は受講してきましたが、育児が始まってからは、研修の全日程を受講しなくても良いように調整・配慮して貰っていました。

今回は最後の年次研修であったし、全日程を受講したい！同期の近況や、どんな業務に携わっているのか？自分の働き方は今のままで良いのか？といった事が知りたい気持ちがありました。そうは言っても、今の生活サイクル・娘の心情を考え両親と娘とで家族会議を開催しました。結果は娘の事を優先し今回も受講日程を調整して貰おうという事になりました。

研修受講1か月前に人事部の方から「年次研修時に研修センターで託児サービスがありますので、ご利用されますか？」と連絡がありました。その夜、家族会議第2回目を開催しました。まず娘に「ママのお仕事を横浜まで4日間一緒に行ってくれる？」と尋ねると、

「行く！行く行く！」と言い、話は即決定！内心は「行かない！ママ行かないで！」と言われるかと思っていたので拍子抜けです。両親は4日間だが知らない所に行く娘をすごく心配していましたが、普段と違う場所・人・行動を経験する事も就学前の良い経験だと思い、研修中の託児をお願いする事にしました。

出発の日、2人で特急に乗車し瀬戸大橋を渡り岡山へ。岡山駅で駅弁を購入し新幹線に乗車しました。娘は女の子らしいキャラクターのお弁当を食べながら窓の外をずっと見ていました。

新横浜駅に着き、まず私の大学の恩師のもとへ行きました。しばらく恩師宅で過ごした後、ホテルへ向かいました。ホテルは研修センター近くの洗濯機とミニキッチンが付いている部屋を取りました（荷物を少なくしたので、洗濯が出来るのは本当に助かりました！）。

研修1日目、朝7時前に起床し洗顔を済ませ、昨夜ホテル近くのスーパーに買出しに行き購入しておいた

朝食を小さなテーブルに2人並んで食べ、服を着替え、私は久々に作業服以外のスーツを着て、娘は通園用の赤いリュックサックを背負って、いざ出社！娘は口数少なく私の手を握り研修センターに到着。まず託児室に行き手続きと当日の体調を伝え、娘としばしのお別れ。

「嫌だ」と別れに愚図るか心配していましたが、もう一人同学年の女の子が来てくれていて、意気投合したらしく部屋の奥へ2人で笑いながら入って行きました。また拍子抜けです。私の研修初日は娘の事が気になって気になって…。

夕方迎えに行く託児スタッフの先生からその日の行動を聞いて驚きました。午前中少し部屋で遊んだ後、最寄り駅まで歩き電車に乗って、みなとみらいを散歩しながら臨港パークへ行き遊んで帰って来たとの事。いつもの散歩と言えば田んぼのあぜ道を通って保育園の近くの牛舎でウシやヤギを見て、川や海・山へ行き過ごしている娘の1日目の行動がすでに都会っ子過ぎて私が動揺してしまいました。娘はすごく楽しかったようで経験した事、行った場所を嬉しそうに話す姿を見て残り3日間も大丈夫だと感じました。

2日目も昨日と同様に支度をし、研修センターへ向かいました。この日は「部屋の鍵は自分で閉めるから」とつま先立ちで鍵を掛けてくれました。ふと昨日より少し顔付が変わった気がしました。

2日目は託児サービスを受けるのは娘だけでしたが、昨日行った臨港パークで縄跳びや落ち葉を拾い、それを持ち帰り切ったり貼ったりして人形やママのお



弁当を作ってくれました。2日続けて行った“臨港パーク（りんこうぱーく）”ですが、よく聞くと娘の言う公園の名前は“りんごぱーく”。娘は公園内に野菜や果物の木があるため、“りんごぱーく”と思ったらしいです。可愛い間違いは笑えました。

3日目の出社する娘は明らかに違いました。部屋の鍵を掛け、研修センターまで私の前を歩き、背筋がピンと伸びて、小さくなったなあと感じていたリュックサックがますます小さく感じました。この日は赤ちゃんたちが沢山来る日と聞いていたので娘は朝から‘お姉ちゃん’に気持ちがなっていたのでしょう。3日目からは社外へのお散歩は無く、託児室内で過ごしたそうです。テントで秘密基地を作り今日は小さなお友達を招待して過ごしたそうで、帰りの顔もやっぱり‘お姉ちゃん’（ドヤ顔？な感じ）でした。

最終日も朝から張り切って歩き、夜の内に書いた手紙をお世話になった先生方に渡す姿を見て、私が泣けてしまいました。長いと思っていた研修も気が付けばあっという間に終わり、日に日に変わっていく娘の表情やしぐさがこの研修に連れて来て来て良かったあ！と心

の底から思えました。お別れの時、先生方からもペンダント型に折ったお手紙を貰い、嬉しそうに首に掛けて研修センターを後にしました。

帰りは飛行機で帰るように手配をしていたので、羽田空港へ行きお気に入りのコンソメスープを購入し高松空港へ。機内で「ママとの研修はどうだった？楽しかった？」と聞くと「うん。楽しかった！ママ、次のお仕事も一緒に行ってあげるね☆」と何とも頼もしい感想が返って来ました。空港に迎えに来てくれていた両親もしっかりした娘の姿に気付き、驚きと嬉しさを伝えていました。

私たち母娘を大きく成長させてくれた今回の研修は、2人の忘れられない思い出となりました。いつまでも子供だと思っていた娘ですが、キラキラとした顔で次のステップに進む自覚と新しい環境でもやっていける自信を持てたようです。私も新しい配属先で未経験工種の施工管理をしながら娘のキラキラに負けないようパワーアップして行きたいです。

——かくざき ゆきこ 大成建設㈱ 四国支店——

